

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
総合水沢病院	1

	基本理念	市民の健康を支える面倒見のいい病院	
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	人員の維持・確保及び地域の救急医療機関としての役割の維持	
	②具体的目標	①常勤医師、看護師等スタッフ確保の促進 ・常勤医師1名以上の確保 ・採用後1年以内の離職率10%以下を目指す ②地域の救急医療機関としての役割の維持・継続 ・救急車受入れ700件/年以上	
	③課題	診療体制を維持継続するため、人的資源（医師、看護師、医療技術員）の不足を解消することが喫緊の課題。常勤医師の減少によりバックアップ体制のない日が増えている。診療科毎で受入れ体制にばらつきがある。	
	④行動計画	内 容	時 期
		①常勤医師、看護師等スタッフ確保の促進 ・関係大学等へ計画的に訪問し面談を行う（延10人/年） ・新規採用職員の定着率を高めるため、所属先と事務局との連携によりフォローする。 ②地域の救急医療機関としての役割の維持・継続 ・平日日中の不応需をなくすよう、受入れルールの再構築を図る。 ・不応需理由を明確に記録し検証・分析を行い、合理的でない理由による不応需をなくす。	通年 通年 4月 通年
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・関連大学（東北大、岩手医大、東北医科薬科大）へ計画的に訪問し医師派遣を要請した。（計8回訪問） ・今年度採用者9名のうち、9月末時点での退職者0名 ・救急車受入れ 468件/上半期	
	⑦目標達成状況	⑤・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	医師確保については、単年度の取組ではなく、複数年に渡り様々な情報にアンテナを張り、機会を逸しないよう取り組んだ結果と考える。また、医師数減にもかかわらず、救急車受入れが目標を達成しているのは、年度当初の院長面談や診療部会等で、当院の役割の周知を徹底したことによるものと考え。	
	⑨特記事項	令和7年10月1日内科医着任	
期末報告	⑩活動実績	・計画的な大学訪問等による医師確保対策により、令和8年4月から正規職員として神経内科医1名と内科医2名が着任。また、令和7年度末で退職する麻酔科医の後任として会計年度任用職員麻酔科医1名の着任が決定した。 ・救急車受入は目標を上回る935件を受入れた。 ・今年度採用者9名のうち、3月末時点での退職者1名	
	⑪目標達成状況	⑤・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因	・医師複数名の着任は、これまで数年を掛けて取組を進めてきた医師確保対策の成果と捉えている。 ・救急患者数は、前年度より医師数が減少した中で、高齢者救急等の受入拡大が地域での当院の役割の一つとした目標を踏まえ、取組を実践した結果と捉えている。	
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
総合水沢病院	2

基本理念	市民の健康を支える面倒見のいい病院											
今年度の重点取組項目	①重点取組項目	リハビリテーションの拡大、効果的な体制の検討・実施										
	②具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の地域包括ケア病床のリハビリ対象者への提供平均単位数2.0以上は維持し、一般リハに関しても単位数増を目指す。全体としては、昨年度の1.2倍以上の単位数増を目指す。 円滑な退院に向けた支援や退院後のフォローのため多職種と連携する。 S T (※1) の院内普及。 										
	③課題	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に比べ、リハビリ対象者数が増加しており、入院患者に偏りなく介入することが困難になると予想される。 地域包括ケア病床や一般リハの安定的な単位数確保のため、リハビリスタッフの人員増等の検討が必要。 										
	④行動計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>時 期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・リハビリスタッフ間の連携により、1患者あたり午前午後の1日2回の介入を基本とする。</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・土祝日当番制の導入を実施、単位数の動向や必要なスタッフの人員等について検討する。</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・ケア会議でのリハビリ説明を行い、退院時リハビリテーション指導料の算定や退院前訪問指導に関わる機会を増やしていく。</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>・S T介入が必要な患者に関し、情報共有（カンファレンス等）を積極的に行う。</td> <td>随時</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	時 期	・リハビリスタッフ間の連携により、1患者あたり午前午後の1日2回の介入を基本とする。	通年	・土祝日当番制の導入を実施、単位数の動向や必要なスタッフの人員等について検討する。	通年	・ケア会議でのリハビリ説明を行い、退院時リハビリテーション指導料の算定や退院前訪問指導に関わる機会を増やしていく。	随時	・S T介入が必要な患者に関し、情報共有（カンファレンス等）を積極的に行う。	随時
	内 容	時 期										
・リハビリスタッフ間の連携により、1患者あたり午前午後の1日2回の介入を基本とする。	通年											
・土祝日当番制の導入を実施、単位数の動向や必要なスタッフの人員等について検討する。	通年											
・ケア会議でのリハビリ説明を行い、退院時リハビリテーション指導料の算定や退院前訪問指導に関わる機会を増やしていく。	随時											
・S T介入が必要な患者に関し、情報共有（カンファレンス等）を積極的に行う。	随時											
⑤特記事項												
中間報告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 包括ケア病床のリハ対象者への提供平均単位数2.0以上は達成。単位ベースでの前年度比は、包括23.4%増、一般70.3%増となり、昨年度の1.2倍以上の単位数増も達成。 S Tの院内普及も行っており、多職種とも積極的に連携している。 退院時リハビリテーション指導料の算定は65件となり、昨年より26件増となった。 										
	⑦目標達成状況	⑤・4・3・2・1 ※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）										
	⑧達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> 土祝日当番制を導入することで、包括病床の単位数確保は安定した。 必要とする患者に対し、可能な限り午前午後の1日2回のリハビリ介入を行うようにしている。 										
	⑨特記事項	「患者サービスをさらに充実させるため」や「施設基準を上げ、収益増を図るため」、当院に不在のO T (※2) が必要不可欠である。										
期末報告	⑩活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 包括ケア病床のリハ対象者への提供平均単位数2.0以上は達成。単位ベースでの前年度比は、包括26%増、一般93%増、合計で1.56倍の単位数増となり、昨年度の1.2倍以上の単位数増を達成した。 S Tの介入が必要な患者に積極的に介入し、S Tについて、院内の医療従事者を中心に周知することができた。 退院時リハビリテーション指導料の算定は138件となり、昨年より36件増となった。 円滑な退院に向けた支援や退院後のフォローのため多職種が連携した結果、退院前訪問指導は14件となり、昨年より3件増となった。 										
	⑪目標達成状況	⑤・4・3・2・1 ※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）										
	⑫達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> 土祝日当番制を導入することで、包括ケア病床の単位数確保は安定した。 リハビリが必要な患者に対し、可能な限り午前午後の1日2回のリハビリ介入を継続して実施している。 										

⑬特記事項	目標達成はできたが、スタッフの負担が増加している。来年度は、職場環境の改善について検討し、対応する必要がある。また、「患者サービスをさらに充実させるため」や「施設基準を上げ、収益増を図るため」、当院に不在のOTが必要不可欠であり、配置について検討する必要がある。
-------	---

※1 ST＝言語聴覚士

※2 OT＝作業療法士

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
まごころ病院	1

基本理念	患者さんの、心の痛みを知る感受性と、患者さんの、身体の痛みをやわらげる医療技術とを。そして、共に、癒し癒されんことを																	
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	外来患者数の増加																
	②具体的目標	外来患者数を、令和6年度実績の約5%増となる40,500人とする。																
	③課題	社会的動向に加えて純農村地域である胆沢地域の人口減少は、国の動向より著しく、又、多数の医療機関を有する水沢地域に隣接する立地において、当院に目を向け、足を運んでいただく困難さがある。																
	④行動計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>時 期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・高齢者に多い泌尿器症状の訴えに対応するため専門医診療を提供する。</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・施設との情報交換会を開催し連携強化を図る。</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・出前講座を実施し、病院のPRを行う。</td> <td>通年 四半期に1回</td> </tr> <tr> <td>・歯科夜間診療実施により通常診療時の職員配置に不足が生じるため、夜間診療を中止することにより通常診療時間の受入患者を増やす。 目標患者数6年度9,300人→10,000人(+7%)</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・内科の夜間診療を周知する。(HP、院内モニター、出前講座)</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・インフルエンザワクチン接種実施を早期に周知し受診者数増加を図る。(夜間診療でも接種施行)</td> <td>8月から周知開始</td> </tr> <tr> <td>・医科歯科連携により、入院及び在宅患者の歯科への紹介を増やす。</td> <td>通年</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	時 期	・高齢者に多い泌尿器症状の訴えに対応するため専門医診療を提供する。	通年	・施設との情報交換会を開催し連携強化を図る。	通年	・出前講座を実施し、病院のPRを行う。	通年 四半期に1回	・歯科夜間診療実施により通常診療時の職員配置に不足が生じるため、夜間診療を中止することにより通常診療時間の受入患者を増やす。 目標患者数6年度9,300人→10,000人(+7%)	通年	・内科の夜間診療を周知する。(HP、院内モニター、出前講座)	通年	・インフルエンザワクチン接種実施を早期に周知し受診者数増加を図る。(夜間診療でも接種施行)	8月から周知開始	・医科歯科連携により、入院及び在宅患者の歯科への紹介を増やす。	通年
	内 容	時 期																
・高齢者に多い泌尿器症状の訴えに対応するため専門医診療を提供する。	通年																	
・施設との情報交換会を開催し連携強化を図る。	通年																	
・出前講座を実施し、病院のPRを行う。	通年 四半期に1回																	
・歯科夜間診療実施により通常診療時の職員配置に不足が生じるため、夜間診療を中止することにより通常診療時間の受入患者を増やす。 目標患者数6年度9,300人→10,000人(+7%)	通年																	
・内科の夜間診療を周知する。(HP、院内モニター、出前講座)	通年																	
・インフルエンザワクチン接種実施を早期に周知し受診者数増加を図る。(夜間診療でも接種施行)	8月から周知開始																	
・医科歯科連携により、入院及び在宅患者の歯科への紹介を増やす。	通年																	
⑤特記事項																		
中間報告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 4月より、月2～3回、午後の診療時間に泌尿器科の外来を設け、1回13人ほどの患者を診療している。 病院の近隣の地域に出向き出前講座を行った。 7月に8つの施設との情報交換会を開催した。 院内に設置してあるモニターに表示するなどし、夜間診療の周知に努めた。 歯科口腔外科については夜間診療の翌日にスタッフが不足することから、日中の診療に注力できるよう7月から夜間診療を停止した。 行動計画は実行できているものの、昨年同期に9,218人であった外来患者数は、今年は8,817人(5.7%減)であり、増加に結びついていない。 																
	⑦目標達成状況	5・4・③・2・1 ※ 5段階評価(5:できている ⇄ 1:できていない)																
	⑧達成又は非達成の要因	外部への働きかけが、まだまだ不足している。																
	⑨特記事項																	
期末報告	⑩活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 泌尿器科外来について、引き続き月2～3回午後の診療時間に外来枠を設け、診療を継続した。 地域への出前講座(健康講座)を実施し、10月に地域の敬老会へ出向いて啓発活動を行った。 高齢者施設等との連携強化を目的に、1月に4施設との情報交換会を開催した。 歯科口腔外科について、引き続き夜間診療を中止し、日中の診療に注力できるよう継続した。 インフルエンザワクチン接種は夜間診療時の接種や企業向け接種等を実施した結果、一般接種人数は、前年度比2.8%増の443人となった。 																
	⑪目標達成状況	5・4・③・2・1 ※ 5段階評価(5:できている ⇄ 1:できていない)																

<p>⑫達成又は非達成の要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座等の取り組みは実施したものの、周知がホームページ・院内モニター等限定的な媒体に留まり、地域住民等への情報到達が十分ではなかった。区長配布文書やぼちっと奥州等、地域に届きやすい手段の活用を実施できていれば、受診行動につながる可能性があった。 ・ 歯科口腔外科外来では、歯周病治療について通常2回で実施していた治療を1回で完結する運用を行った結果、受診回数が減少し、患者数の増加にはつながらなかったが、診療単価の上昇により収益増となった。
<p>⑬特記事項</p>	

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
まごころ病院	2

基本理念	患者さんの、心の痛みを知る感受性と、患者さんの、身体の痛みをやわらげる医療技術とを。そして、共に、癒し癒されんことを。											
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	適時に適切な医療を提供することで適正な診療報酬を得る										
	②具体的目標	質の高い医療を実践することで、患者1人1日当たり診療収入の増加を図る。 ・外来は、令和6年度実績額(8,654円)に対して10%増の9,500円 ・入院は、令和6年度実績額(32,474円)に対し5%増の34,000円										
	③課題	・医師・スタッフの診療報酬に対する理解不足。 ・定期検査の患者への提案が消極的で習慣化していない。										
	④行動計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>時 期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・同規模医療機関での加算取得内容を確認し、可能なものは極力取得する。</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・対象者への特別食の提供を適正に実施する。</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・フォローアップ検査の適正実施。(外来・在宅)</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・慢性疾患患者への栄養指導を積極的に行う。</td> <td>通年</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	時 期	・同規模医療機関での加算取得内容を確認し、可能なものは極力取得する。	通年	・対象者への特別食の提供を適正に実施する。	通年	・フォローアップ検査の適正実施。(外来・在宅)	通年	・慢性疾患患者への栄養指導を積極的に行う。	通年
	内 容	時 期										
・同規模医療機関での加算取得内容を確認し、可能なものは極力取得する。	通年											
・対象者への特別食の提供を適正に実施する。	通年											
・フォローアップ検査の適正実施。(外来・在宅)	通年											
・慢性疾患患者への栄養指導を積極的に行う。	通年											
⑤特記事項												
中間報告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新たな加算の取得ができていない。 ・管理栄養士と病棟看護師が連携して特別食の対象者を掌握し、医師に情報提供して確実に提供ができています。 ・フォローアップ検査はほとんど増えていない。 ・外来患者に対して継続して栄養指導が行われるよう、管理栄養士から医師への働きかけを行っている。 ・昨年同時期と比べ、入院・外来とも単価は微増した。 										
	⑦目標達成状況	5・4・③・2・1 ※5段階評価(5:できている ⇄ 1:できていない)										
	⑧達成又は非達成の要因	医療の質を上げようとする職員の意識が不足している。										
	⑨特記事項											
期末報告	⑩活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・12月より急性期看護補助加算を新規取得した。 ・特別食加算の算定件数が増加した。(6年度:126件→7年度:206件、63.5%増) ・外来栄養指導の実施件数が増加した。(6年度:16件→7年度:45件、181.3%増) ・フォローアップ検査の実施件数は、年度を通じて大きな増加が見られなかった。 										
	⑪目標達成状況	5・④・3・2・1 ※5段階評価(5:できている ⇄ 1:できていない)										
	⑫達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> ・特別食加算患者件数の増加は、管理栄養士が医師へ積極的に情報提供・提案を行ったこと、ならびに病棟看護師と連携して対象患者の疾患・状態を共有できたことが、算定の確実化につながったためである。 ・外来栄養指導件数の増加は、初回指導のみで終了せず2回目指導につなげる運用を進めたことで、患者が相談しやすい関係性が形成され、継続指導や紹介(他患者から依頼)につながったためである。 ・歯科口腔外科外来の診療単価の上昇は、通常2回に分けて実施する歯周病治療を、可能な範囲で1回で完結させる運用を行ったことが一因と考える。 ・フォローアップ検査が増加しなかった要因は、定期的に検査へつなげるための仕組みが整備できておらず、運用が定着していないためである。 										
	⑬特記事項											

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
前沢診療所	1

基本理念		思いやりの心もち 心身を両面からみる頼れるかかりつけの診療所	
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	健診の啓発と受診者数の向上	
	②具体的目標	健診受診者数の増加。前年度比+7%（6年度：454人→7年度：486人（+32人）） ※令和6年度に健診実施枠を拡充し体制を整えた。 6～12月の住民健診時期の余裕数（枠504－6年度実績445＝59）の半数増を目指す。	
	③課題	「自称：健康」で通院等をされていない方への受診勧奨機会の確保が難しい。	
	④行動計画	内 容	時 期
		<ul style="list-style-type: none"> 通院患者、患者の付き添いの方への受診勧奨。 施設内における周知啓発。 「出前講座」、「集団栄養指導」、「健康フェスタ」等の診療以外の場面を活用した意識啓発。 市の保健活動部門との連携。 	6～12月 〃 〃 〃
⑤特記事項			
中間報告	⑥活動実績	各種健診の受診者合計を前年度比較すると317人→268人となり、49人・15%の減となった。通院患者やその家族等への勧奨、集団栄養指導の口頭による周知啓発に加え、9月に開催したまえさわ健康フェスタでも健診の重要性を伝えており、9月以降は前年比較で回復傾向が見られる。	
	⑦目標達成状況	5・4・3・②・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	周知啓発活動が不足していたこと。	
	⑨特記事項	今後も継続的な周知啓発活動により受診者の増加を図る。 一方で、外来患者数が前年より増加している実態もある。	
期末報告	⑩活動実績	令和7年度の各種健診の受診者総数は、令和6年度の454人と同数であった。年度前半は前年水準を下回ったが、秋以降、まえさわ健康フェスタで健診の重要性を周知するとともに、外来診察時に健診受診を勧奨したことにより、後半は持ち直した。一方で、前年を上回る目標には達しなかった。	
	⑪目標達成状況	5・④・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因	後半の盛り返しには周知活動、患者への個別の受診勧奨が増加の要因となった。	
	⑬特記事項	外来診療、健康診断ともに受け入れる体制のなかで、外来患者前年度比157人・1.8%の増もあり、総合的にはこれら実績の増加が図られた。	

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
前沢診療所	2

	基本理念	思いやりの心を持ち 心身を両面からみる頼れるかかりつけの診療所	
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	心療内科の専門性を活かした医療提供	
	②具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が心療内科の本質を理解し心身医療を診療に活かすスキルを習熟する。 ・患者に寄り添う心身医療を通して全人的医療を患者・家族に提供する。 	
	③課題	通常診療体制の中で全スタッフがスキルアップに向けた時間を確保すること。	
	④行動計画	内 容	時 期
		所長をはじめとする心療内科専門スタッフによる学習会を隔月開催し、診療所内における心療内科のスキル向上を図る。	6～3月
⑤特記事項			
中間報告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期は診療所内での学習会の開催に至らなかった。 ・朝礼時に所長から心療内科に関する情報提供があった。 ・On the Job Training によるスキルアップ効果は得られている。 	
	⑦目標達成状況	5・4・3・2・①	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	多忙を理由に学習会の企画に至らなかったこと。	
	⑨特記事項	当初目標を再認識し、下半期で活動実践に取り組む。	
期末報告	⑩活動実績	2月に所長を講師とする心療内科研修会を、診療所内スタッフを対象として開催した。うつ病を題材として、その背景や診断の目安等の実践的な内容を学習してスキルアップを図った。 研修の様子を録画することで当日参加できないスタッフへのフォローアップも行った。	
	⑪目標達成状況	5・4・③・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因	1度の開催ではあったが、各スタッフがそれぞれの立場で興味深く取り組んで理解を深めることができ、今後の診療に役立つ研修となった。	
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
衣川診療所	1

	基本理念	思いやりの心を常に持ち信頼される地域医療をめざします	
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	へき地診療所としての医療提供体制の確保	
	②具体的目標	将来的な患者数を見据えた、適正な職員体制を確立する。	
	③課題	・常勤医師1名体制であることから、常勤医師の負担軽減を図りつつ、医療提供体制の確保が課題。	
	④行動計画	内 容	時 期
		・令和4～6年度の職員体制と患者数をベースに、9月末までに必要な各職種の職員体制を検討する。 ・令和8年度からの適正な職員体制を確立する。	9月末 3月
⑤特記事項			
中間報告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 常勤医師1名体制が続いており、常勤医師の負担が増している状況ではあるが、非常勤医師の応援により、医療提供体制を維持している。 入院患者数、外来患者数が共に減少（4月～9月 入院：6年度対比22.7%減、外来：6年度対比13.3%減）している。 遠隔診療については増加（4月～9月 6年度対比75.0%増）している。 	
	⑦目標達成状況	5・4・3・ 2 ・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> 常勤医師1人体制になっていることもあり、1週間当たり診療コマ数が16コマに減少しているため。 遠隔診療の増加については、定期受診患者への働きかけを行ったため。 	
⑨特記事項	常勤医師1名の体制が今後も続くと予想される状況ではあるが、非常勤医師の応援を得つつ、へき地診療所として持続可能な医療提供体制を確保する。		
期末報告	⑩活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 常勤医師1人体制が続いていたが、医療局内の人事異動により、令和8年度から常勤医師2人体制となることが決定した。 遠隔診療については、前年度と比較し増加（45.5%増）している。 	
	⑪目標達成状況	5・4・ 3 ・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔診療の増加については、身体の状態や交通手段の関係から通院の負担が大きく、生活習慣病等の慢性疾患などで病状が安定している患者に対し、定期受診時に働きかけを行ったことなどによる。 	
⑬特記事項			

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
衣川診療所	2

基本理念	思いやりの心を常に持ち信頼される地域医療をめざします					
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	モバイルを活用した遠隔診療の実施				
	②具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内を目途に、院外処方による薬剤輸送方式を確立する。 ・健診事業への活用を検討・実施。 				
	③課題	常勤医師1名体制であることから、常勤医師の負担軽減を図りつつ、医療提供体制の確保が課題。				
	④行動計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>時 期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・院外処方による薬剤輸送方式の確立。（協力薬局一覧の作成） ・上記について関係機関（薬剤師会、薬局、市健康増進課）と連携及び協議。 ・健診事業への活用を検討。 ・イベント会場での長寿健診の実施。 </td> <td> 3月末 随時 9月末 10月以降 </td> </tr> </tbody> </table>	内 容	時 期	<ul style="list-style-type: none"> ・院外処方による薬剤輸送方式の確立。（協力薬局一覧の作成） ・上記について関係機関（薬剤師会、薬局、市健康増進課）と連携及び協議。 ・健診事業への活用を検討。 ・イベント会場での長寿健診の実施。 	3月末 随時 9月末 10月以降
	内 容	時 期				
<ul style="list-style-type: none"> ・院外処方による薬剤輸送方式の確立。（協力薬局一覧の作成） ・上記について関係機関（薬剤師会、薬局、市健康増進課）と連携及び協議。 ・健診事業への活用を検討。 ・イベント会場での長寿健診の実施。 	3月末 随時 9月末 10月以降					
⑤特記事項	・遠隔診療は、毎週火曜日の午後、及び隔週金曜日の午後実施。					
中間報告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・院外処方に係る協力薬局一覧の作成については、年度末までに作成予定。 ・院内処方については、遠隔診療終了後にオンライン服薬指導を行うことで実施予定。薬剤の郵送を検討中。 ・健診事業への活用については、健康増進課から厚生労働省との調整に時間を要するとのことで、その旨了承した。あわせて、触診の代替手段、エコー実施に伴う人材育成、浮腫の診察方法、聴診・心音の評価に関する課題、視診（貧血・黄疸等）等に対する対処方法についても、引き続き検討していく。 				
	⑦目標達成状況	5・4・ 3 ・2・1 ※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）				
	⑧達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> ・院外処方、院内処方については、協議がスムーズに進んでいるため。 ・健診に係る分については、厚労省との調整に想像以上に時間を要するため。また、技術的な課題も多いため。 				
	⑨特記事項	・遠隔診療終了後にオンライン服薬指導を行う予定				
期末報告	⑩活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・院外処方に係る協力薬局一覧は3月に完成。 ・遠隔診療の際のオンライン服薬指導は未実施。 ・薬剤輸送については配送事業者と協議し、患者から希望があった際には対応することで調整済み。 ・健診事業への活用については、厚生労働省との調整に時間を要するため継続協議となっている。 ・触診の代替手段、エコー実施に伴う人材育成、浮腫の診察方法、聴診・心音の評価に関する課題、視診（貧血・黄疸等）等に対する対処方法については、これまでも検討を重ねてきたが、課題解決に向けて引き続き検討を進める。 ・イベント会場での健診事業への活用については、前述の問題等が解決されていないこともあり、未実施。 				
	⑪目標達成状況	5・4・ 3 ・2・1 ※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）				
	⑫達成又は非達成の要因	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン服薬指導については、遠隔診療が終わった時間と薬剤師の服薬指導が可能な時間が合わなかったため実施に至らなかった。 ・薬剤輸送については、既に配送サービスを行っている事業者であり実績もあったため。 				
	⑬特記事項					

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
衣川歯科診療所	1

基本理念	衣川地域唯一の歯科診療所として、地域住民の口の健康を守り、健康増進に寄与する		
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	へき地診療所としての医療提供体制の確保	
	②具体的目標	通院困難な患者の増加を見据え、適正な訪問歯科診療の実施体制を確立する。	
	③課題	・通常の歯科診療と訪問歯科診療の実施体制の両立が課題。	
	④行動計画	内 容	時 期
		・訪問歯科診療の実施体制について、7年度上期（9月末）を目途に、新たな職員体制を検討する。 ・令和8年度からの適正な職員体制を確立する。	9月末 3月
⑤特記事項			
中間報告	⑥活動実績	・5月から会計年度任用職員の歯科衛生士1名が育児休業から復職し、診療体制の充実を図れていることで、計画的な予約調整や急患対応が可能となっている。外来患者数は微減（4月～9月 6年度対比4.3%減）の状況ではあるが、訪問歯科診療は大幅に増加（4月～9月 6年度：2件、7年度：29件）している。	
	⑦目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・適正な職員体制により診療所が運営できているため。	
	⑨特記事項	・現在の医療スタッフ体制を基本とし、へき地診療所として持続可能な医療提供体制を確保する。	
期末報告	⑩活動実績	・歯科衛生士（会計年度任用職員）の復職により診療体制が安定し、計画的な予約調整や急患対応が可能となっている。 ・外来患者数は前年度とほぼ同数の状況ではあるが、訪問歯科診療は大幅に増加（6年度：20件、7年度：82件）している。	
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因	・適正な職員体制により診療所が運営できているため。	
	⑬特記事項		

令和7年度 目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組No.
衣川歯科診療所	2

基本理念	衣川地域唯一の歯科診療所として、地域住民の口の健康を守り、健康増進に寄与する									
今年度の重点取組項目等	①重点取組項目	患者数の減少抑制対策								
	②具体的目標	令和4年度から令和6年度の年間外来患者数の減少率が1.0%であったことから、減少率1.0%以下を目指す。								
	③課題									
	④行動計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>時 期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・口腔ケアについての普及啓発を図るため、衣川地域内の出前健康講座を活用し、情報発信を行う。</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>・口腔ケアについての普及啓発を図るため、衣川地域内の筋力プラスワン講座において、情報は発信を行う。</td> <td>10～12月</td> </tr> <tr> <td>・認定こども園（あゆみ園）の保護者あてに歯科だよりを1回/月発行し、歯に関する情報提供を行う。</td> <td>毎月</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	時 期	・口腔ケアについての普及啓発を図るため、衣川地域内の出前健康講座を活用し、情報発信を行う。	随時	・口腔ケアについての普及啓発を図るため、衣川地域内の筋力プラスワン講座において、情報は発信を行う。	10～12月	・認定こども園（あゆみ園）の保護者あてに歯科だよりを1回/月発行し、歯に関する情報提供を行う。	毎月
	内 容	時 期								
・口腔ケアについての普及啓発を図るため、衣川地域内の出前健康講座を活用し、情報発信を行う。	随時									
・口腔ケアについての普及啓発を図るため、衣川地域内の筋力プラスワン講座において、情報は発信を行う。	10～12月									
・認定こども園（あゆみ園）の保護者あてに歯科だよりを1回/月発行し、歯に関する情報提供を行う。	毎月									
⑤特記事項										
中間報告	⑥活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する高齢者施設において、市が主催する家族介護教室において講話を行い、口腔ケアの普及啓発を行った。（7月） ・認定こども園の保護者あてに歯科だよりを1回/月発行し、歯に関する情報提供を行っている。また、6月には歯科衛生士2名が園児への歯科保健指導（子ども向けお口の健康体操等）を行った。 ・隣接する高齢者施設の職員を対象に、口腔ケアの方法に係る勉強会を、これまでに4回開催した。また、歯科衛生士による口腔ケアの実技指導を定期的に開催している。5月から9月まで、延べ10回開催。 ・歯科医師の指示・計画のもとで歯科衛生士のみでの訪問口腔ケアを実施している。これまで述べ28回実施した。（毎月随時） 								
	⑦目標達成状況	<table border="1"> <tr> <td>5</td> <td>・ 4</td> <td>・ 3</td> <td>・ 2</td> <td>・ 1</td> <td>※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）</td> </tr> </table>	5	・ 4	・ 3	・ 2	・ 1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）		
	5	・ 4	・ 3	・ 2	・ 1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）				
	⑧達成又は非達成の要因	・地域との連携を図りながら、口腔ケアの普及啓発に意欲をもって取り組んでいるため。								
⑨特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・11月から衣川地域4地区において開催するフレイル予防教室「お達者プラス」において、口腔ケアに関する講話を予定している。 ・衣川地域内の2つの小学校において、歯科指導（授業）の実施を予定している。（11月、12月） ・隣接する高齢者施設の職員を対象にした歯科衛生士による口腔ケアの実技指導については、今後も月1回の開催を予定している。 ・歯科衛生士のみでの訪問口腔ケアは、今後も随時実施予定 									
期末報告	⑩活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者数は令和6年度が4,979人、令和7年度が4,973、患者減少率は0.1%であった。 ・出前健康講座については、住民からの申し込みが無く実施には至らなかったが、衣川地域内4地区においてフレイル予防教室「お達者プラス」を計4回開催し、歯科医師及び歯科衛生士2名が講師として参加した。 ・認定こども園において、毎月保護者あてに歯科だよりを発行し、むし歯予防等の歯科保健に関する情報提供を行った。（計12回） ・歯科医師による訪問診療を計48回、歯科衛生士による訪問口腔ケア（医師同行及び衛生士単独等をすべて含む。）を計82回実施した。 								
	⑪目標達成状況	<table border="1"> <tr> <td>5</td> <td>・ 4</td> <td>・ 3</td> <td>・ 2</td> <td>・ 1</td> <td>※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）</td> </tr> </table>	5	・ 4	・ 3	・ 2	・ 1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）		
	5	・ 4	・ 3	・ 2	・ 1	※ 5段階評価（5:できている ⇄ 1:できていない）				
⑫達成又は非達成の要因	・出前健康講座は、住民からの申し込みにより実施する事業であるが、今年度は申込がなく実績はなかった。一方で、今年度実施したフレイル予防教室等の周知活動の効果により、今後出前健康講座の要望が生じることが期待される。									

<p>⑬特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣川地域の認定こども園、2つの小学校において歯科医師、歯科衛生士による歯科保健授業を実施した。 ・口腔ケア及びへき地診療の参考とし、あわせてスタッフの教育とモチベーション向上を図ること目的とした研修を、西和賀さわうち病院及び特別養護老人ホームにて2回行った。 ・現在、岩手県において喫緊の課題とされている障がい児・障がい者の受け入れ体制の充実を図るため、岩手医科大学附属病院障がい者歯科外来にて、歯科医師及び歯科衛生士が研修を行った。また、みちのく療育園においても歯科医師が研修を行った。さらに、同園の歯科医師及び歯科衛生士が当診療所と併設の特別養護老人ホームを見学し、スタッフ間の交流を図った。
--------------	---